

議員全員協議会会議録	
1 開会日	令和3年11月16日 午後 1時30分 開会 午後 3時14分 閉会
2 場 所	本会議場
3 出席議員	竹内恵美子 清田 文雄 吉川 重雄 石川 則男 吉川 諭 二宮加寿子 奥津 勝子 鈴木 京子 玉虫志保実 飯田 修司 高橋 英俊 柴崎 茂 鈴木たまよ 渡辺 順子
4 説明員	町側出席者 中崎 町長 宮越 副町長 熊澤 教育長 佐野 政策総務部長 齋藤 参事(政策秘書・情報化推進担当) 大槻 教育部長 曾根田 総務課長 藤本 財政課長 野崎 財政係長
5 職務のため 出席した職員	局 長 岩本 清嗣 書 記 熊澤 晃
6 その他 一般傍聴	なし

(1) 町長あいさつ

○津波土砂避難訓練について

- ・ 11/6 実際、参加者約 900 人
- ・ 大磯港では大磯コネクトや釣り人などの観光客の避難誘導を実施
- ・ 防潮堤の閉鎖訓練を実施
- ・ ワクチン接種会場（国府小学校体育館）ではシェイクアウトを実施。

○大磯町立小中学校の修学旅行について

- ・ 国府中学校 10/21-22 箱根方面
- ・ 大磯小学校 11/4-5 静岡・箱根方面、国府小学校 日光方面
- ・ 大磯中学校 11/11-13 新潟・群馬方面

○地域活性化に向けた包括的連携に関する協定について

- ・ 11/10 島根県美郷町と協定締結。別称「ビーチ&バレー協定」
- ・ 美郷町…住民主体の鳥獣害対策ジビエ活用の先進地
- ・ 鳥獣害対策の課題解決と両町の地域活性化に向けて取り組みを進める。

○新型コロナウイルスワクチン接種の進捗状況について

- ・ 10/22 以降の感染者なし。
- ・ 11/11 現在 12 歳以上 1 回目 25,653 人 (85%)
2 回目 25,256 人 (84%)
- ・ 訪問接種 希望者 1 名あり
- ・ 3 回目の接種は、年明けに接種券発送予定で医療従事者から開始。
- ・ 町民へは現時点では 3 月からの実施に向けて準備していく。

○大磯町子育てファミリーエール商品券について

- ・ 子育て世帯支援のため、妊婦を含む中学生以下の子どもがいる世帯に、町内店舗で使用できる商品券を発行した。
- ・ 1 人当たり 1 万円、10/26 に 3,802 人分を発送。

○コロナ禍における子育て世帯への経済対策について

- ・ 現在の情報では、18 歳以下の子どもを対象に、所得制限の上で年内に現金 5 万円を、来春までに 5 万円分のクーポンを給付。

○その他

- ・ 11/1 付け、新採用職員 3 人の紹介（写真にて）

※主な質疑

- ・ もうすでに 3 回目の接種券を発送している自治体もあると聞けるが、大磯町の接種開始が 3 月からなのはなぜか。
- ・ 3 回目の接種は 2 回目の接種後 6 ヶ月からという報道もあるが、なぜ本町は 8 ヶ月後なのか。
- ⇒現在の情報では、2 回目の接種後 8 ヶ月後以降とされているため、3 月からとなる。
- ・ 新採用職員の採用がこの時期になった理由は。
- ⇒年度途中の退職者補充として社会人経験者枠で募集・採用した。

(2) 町報告事項

- 12月議会に提出を予定している補正予算(案)について
・財政課により概要を説明。

(3) 各委員会等の行事報告・予定について

「各委員会等の行事報告・行事予定」の配付により説明は省略。

(4) 主な報告事項

① 委員長等からの報告

○議会運営委員会 鈴木(京)委員長

11月16日 (提出予定議案、陳情の取扱い、議会改革の検討事項)

○総務建設常任委員会 高橋委員長

10月21日 勉強会(大磯町の農業)

11月2日 協議会(行政手続きにおける押印等の見直し、大磯町職員の給与に関する条例等の一部改正、大磯町公共施設等総合管理計画の改訂等)

○福祉文教常任委員会 吉川(諭)委員長

10月29日 委員会(大磯町社会福祉協議会への委託事業等について)

10月29日 協議会(大磯町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める

条例の一部改正、令和4年度国民健康保険税の賦課税率等の見直し協議の現状)

○議会だより編集委員会 玉虫委員長

10月18日 (第207号の校正)

○新庁舎建設等特別委員会 渡辺委員長

10月18日 委員会(大磯町新庁舎整備基本構想の策定に向けた取組み状況)

11月11日 行政視察

開成町 新庁舎施設

11月15日 委員会(大磯町新庁舎整備基本構想(素案))

② 監査委員からの報告 二宮監査委員

③ 10月27日・11月8日 議会報告会推進委員会 清田議員

④ 10月25日・26日 JIAM 町村議会議員特別セミナー

(研修内容: データで読み解く人口減少 - 統計的に有効な自治体少子化政策を、村づくりは、人づくり~世界のSARABETSUを目指して~、小さな林業の、大きな可能性~地方創生や土砂災害防止のカギ『自伐型林業』~、地域公共交通-地域の命運を左右する政策に地方議会はどう向き合うべきか?)

石川議員、吉川(諭)議員、奥津議員、鈴木(た)議員

⑤ 11月4日・5日 JAMP 市町村議会議員特別セミナー

(研修内容: 災害に強いまちづくりと自治体・議会の役割、地方議会改革の変遷と今後の展望~20年にわたる連載「変わるか! 地方議会」の取材から見てきたもの、公共施設更新問題への挑戦-秦野市の取組みと日本のハコモ

ノ事情から一、まちの幸福論～自分たちのまちをデザインしよう～) 石川議員、飯田議員

- ⑥ 10月29日 県町村議会議長会 10月役員会・臨時会
県町村会情報システム共同事業組合議会定例会 竹内議長
- ⑦ 11月12日 新湘南国道並びに藤沢大磯線（湘南新道）新設改良促進協議会県
要望 竹内議長
- ⑧ その他

(5) 協議事項

① 町議会議員と町長の同時選挙について

※前回の議員各位の意見を踏まえ、関連する法令、本町議会の過去の協議経過及び先進地の事例等の資料を作成・配付し、協議した。

主な意見)

- ・議会解散に関する特例法の主旨を受け止め、私たちに与えられた任期を全うすべきだ。
- ・選挙の期間（議員選と町長選）が半年以上離れているため難しい。より慎重な議論が必要、少し時間を置いてもいいのでは。
- ・議員二人以上で解散決議の提案を出してどうするかの話。問題はこの陳情をどう処理するかということ。
- ・「議会が自ら進んで解散する」ことを認めている特例法は、「世論の動向にかんがみ」としていることから、自ら解散できる要件に達していないと考える。解散決議案を提出するタイミングは、議員任期の直前となると想定される。町長辞職の方法は現実的ではない。したがって、現時点では、議会の解散はできないと思う。
- ・特例法としても馴染まない、先を見越して決議もできないとするなら、任期直前にもう一度検討をするということでもいいのでは。
- ・特例法は「世論の動向にかんがみ」としているので、陳情2件では足りないということ。署名が何千件とか、世論の高まりがあれば特例法を適用できるが、今の状態では準用することはできないだろう。町長選に合わせ解散するとなると、事前の準備が必要。その場合は、予め賛否を確認しておく必要がある。
- ・今は結論は出せない。秋に向けて機運が高まるか見守るしかないが、署名が集まったとしても、議員一人ひとりの判断によることになる。
- ・選挙を合わせたとしても、一人だけである首長が、途中で万が一ということもあり得る。陳情は、法を曲げて任期前に解散せよということ。伴度、陳情があったら法を曲げる議会だとしたら、他の法も曲げてくれということになる。

※以上の意見を踏まえ、「現時点では、議会として解散の考えはないこと、解散の要件等が整うなど状況が変わった時には、改めて協議する。」という結論となった。

② 議員研修会について

- ・ 県町村議会議長会の議員研修会は、新型コロナウイルス感染症対策のためオンライン研修（動画配信）となった。配布した資料のURLから各自視聴をお願いする。
- ③ 令和4年度予算の議会費について
 - ※事務局で作成した予算要求（案）について詳細を説明。
 - ・ 全員の了承を得た。
- ④ 押印等の見直しについて
 - ※押印等の見直し関係で、法令の改正に関わる件について説明し了承された。
 - ・ 「大磯町議会政務活動費の交付に関する条例施行規則」、「大磯町議会政務活動費に関する取扱い要領」
- ⑤ その他
なし
- (4) その他
なし

・ 次回の議員全員協議会は、12月16日（木）午後1時30分からの予定。
